

■ ライフステージに応じた健康福祉のかかわり

- 健康福祉は人の一生を通じてかかわるものです。一人一人のライフステージに応じて、切れ目なく、また必要に応じて複数の分野が連携して支援を行っていくことが大切です。
- ライフステージを「乳幼児期」、「就学期」、「就労期（前期）」、「就労期（後期）」、「高齢期（前期）」、「高齢期（後期）」の6つに区分し、それぞれの健康福祉とのかかわりについて示します。

◆ ライフステージと健康福祉

乳幼児期	就学期	就労期		高齢期	
		前期	後期	前期	後期
子どもの健やかな成長					
	社会人としてふさわしい能力を身につける	経済的に自立した生活			
地域における子育て支援の充実		希望する人が結婚や子どもを持つことができる			
	放課後を安全・安心に過ごす	出産・子育てと社会生活の両立		必要なサービスを受けて地域で安心して暮らす	
子どもの貧困の解消、児童虐待の防止、適切な養育の実施			介護や病気の治療と社会の担い手との両立		人生の最後の時期を自分らしく過ごす
生きる力や健康的な生活習慣の獲得		健康的な生活習慣と定期的な健診による生活習慣病の予防		地域活動への参加など生きがいをもちて暮らす	
	特別支援教育の充実	障害のある人への就労支援			
障害のある子どもへの医療・療育支援		障害のある人の地域生活を支える体制の整備			
子ども・子育て支援新制度		年金制度			
		介護保険制度			
		障害福祉サービス			
		医療保険制度			
		公的扶助（生活保護制度）			
		地域での助け合い・支え合い			

■ ビジョンの推進

- ビジョンは包括的な視点で健康福祉分野全体の施策の方向性を示し、各個別計画と一体となって福祉、保健、医療に関する様々な取組を推進します。
- 個別計画ではビジョンで示された方向性を踏まえながら具体的な施策・取組を展開し、各個別計画で定める目標により進行管理していきます。
- ビジョンでは年次レポートを作成し、ビジョンに示されている施策の進行状況や新たな課題に対する取組の方向性を明らかにしていきます。

